

# H27 館林二小学力向上【11の取組】

～日々の授業改善と家庭学習の充実を通して～

館林市立第二小学校  
校長 栗原 昇

## 1 館林二小の概要と【学力向上11の取組】

本校は館林市役所近くの学校で、市の中心街にあります。児童は、340人在籍で、14学級（特支2学級を含む）です。皇后陛下美智子様が疎開された伝統校で、保護者は二小出身ということに誇りに思っています。市街地ということで、保護者は勤め人や小売店経営などがほとんどです。

二小の学力ですが、H25は全国学力テストの平均正当率とほぼ同じでした。平均正当率アップを重要な学校課題として、職員一丸となって分析と改善に取り組みました。

その結果、H26は国算ABともに、すごくアップしました。また、H27は国算ABだけで

なく、理科も含め、前年度よりさらに向上しました。無解答もH26・H27とほとんどありませんでした。二小として、特別なことをしたわけではありませんが、下の「学力向上 11の取組」を中心に実践したことが好結果を生んだと思われま



【二小・運動会】

## 館林二小 学力向上【11の取組】

- ①国語で、おうちの達成に適した単元づくりの工夫（単元を貫く言語活動）～  
～県教委「はばたく群馬の指プラン」を取り入れた校内研修（5年間継続）～
- ②PDCAサイクルによる授業改善  
～ワークショップ型の研修＝指導案作成から授業研究会まで実施～
- ③話して、書いて、伝え合う国語  
～作文ノートを活用し、朝作文や週末作文に挑戦～
- ④わかる授業づくりと板書の工夫（館林市教委の重点項目）  
～最初に「めあて」、最後に「振り返り」をきっちり行う～
- ⑤子どもの学習成果が見られる教室環境  
～国語の単元の学習計画と完成した作品を教室に掲示～
- ⑥子どもの分からないをなくす（子どもにやる気と自信アップ）  
～放課後の補充指導、夏季休業中の学習会、テストの見直し～
- ⑦家庭学習の習慣化（家庭学習の手引・学力向上だより配布）  
～家庭学習時間の設定と適切な宿題、自主学習ノートの提出～
- ⑧相手を考えての言葉遣いと学校のきまりの遵守  
～朝は「おはようございます」、職員室の入室では「失礼します」～
- ⑨知・徳・体のバランスのよい学習活動  
～教師も児童と一緒に、挨拶運動、5分間のマラソントイム、掃除、歌～
- ⑩教師自身が学習活動を楽しむ  
～他の団体からの出前授業を受け入れ、子どもの学習意欲を喚起～
- ⑪学校経営方針の重点を職員が常に意識して指導  
～様々な場面で、元気よく「おはよう」「ありがとう」「はい」を実践する～



## 2 確かな学力の定着に向けた取組

前ページの「学力向上 11の取組」に対し、職員は意識して、こつこつと日常的に取り組んでいます。どの項目が学力向上に一番効果があるかというよりは、全ての項目がお互いに補完しあって、好結果につながったと思います。例えば、「⑩の取組」ですが、授業中に名前を呼んで「はい」の声が小さいと、どの学級も、もう一度「はい」を言い直すようにしています。次に、本校の具体的な取組を紹介します。

### ①指導体制の工夫・改善

- ・算数科における学力向上特配（単元により、習熟度別少人数指導やTT指導）の活用
- ・放課後の補充指導（毎週、金曜日、算数と国語20分補習＝校時表に位置づける）
- ・夏季休業中の学習会（全学年8日間午前中＝毎日、約半分の児童参加）
- ・単元テスト等の9割未満の児童に対する個別支援と再テストの実施（放課後）
- ・学期末の漢字・計算大会で全児童が合格（90点以上合格。合格するまで実施＝4回）
- ・学習規律の共通確認（学習用具の準備＝辞書の持参等、聞く態度、「はい」、発表の声）
- ・作文ノートを活用し、朝作文や週末作文に挑戦（毎週1回以上は書く）
- ・ノート指導の仕方の共通理解  
（日付、めあて、自分や友達の考え、まとめを書く。優秀ノート掲示、ノート例の配布）

### ②教育課程の改善・充実

- ・はばたく群馬の指導プランに沿った授業づくり  
\* H24～校内研修で、自分の考えを明確に表現する児童の育成。国語の書く力に重点  
\* 「単元を貫く言語活動の設定」→単元づくり、モデルの作成と提示、話し合いの場設定
- ・わかる授業づくり  
\* 最初に「めあて」、最後に「振り返り」をきっちり行う  
\* 思考力を育成する課題の提示。問題に対し、自力解決の場の設定。交流の場の設定



【国語の授業】

### ③教員の指導力向上

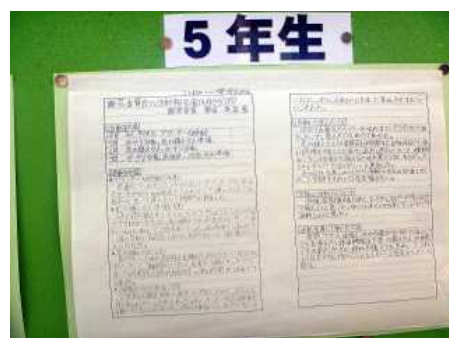
- ・P D C A サイクルによる授業改善（ワークショップ型の研修＝指導案、授業研究会全て）
- ・学力向上委員会を月1回開催（取組状況を共有。改善策を話し合う）
- ・C R T 学力検査や全国学力・学習状況調査の分析（低い項目の洗い出しと改善策）
- ・週案の提出と管理職による日常的な教室訪問（2週間に一度、週案に反省事項を記入して提出）
- ・一人1研究授業、講師を招聘しての研修会、先進校の視察



【ワークショップ型の研究会】

### ④家庭・地域との連携

- ・毎日、適切な量の宿題と教師のチェックと励まし（保護者チェックカードの活用も）
- ・「学力向上だより」や「H27家庭学習の手引き」を各家庭に配布（家庭学習の習慣化）
- ・読書の勧め（「学力向上だより」で読書と学力の関係を特集）
- ・自主学習ノートを全児童に準備（全員が挑戦＝漢字・計算・プリントの間違い直し、章末問題、意味調べ、俳句など）
- ・学校だより「ポプラ」や二小HPで学校の様子を伝え、協力を得る（HPは1週間に2回以上更新）



【優秀ノートの掲示】

### 3 全国学力・学習状況調査の結果

全国学力・学習状況調査の結果については、各校で分析し改善策を講じています。本校も正当率が低い項目・改善が必要な項目について、分析し改善策を立て、取り組んでいます。

その一方で、本校の傾向について、プラスの面も分析しました。プラス面は、二小の良さとして、引き続き取り組んでいきたいと思えます。

次に、参考として、本校のプラスの傾向と全国学力・学習状況の結果を載せます。

#### (1) H27 児童質問紙にみる二小の傾向（大きなプラス事項）

- ①毎日、同じ時刻に寝ているか。  
(はいー全国 39.2 二小 56.7)
- ②ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがあるか。  
(はいー全国 72.9 二小 88.1)
- ③昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書室や地域の図書館にどれくらいいくか。(週4回以上行くー全国 3.4 二小 14.9)
- ④普段(月～金)1日どのくらいテレビゲームをするか。  
(2時間以上ー全国 30.2 二小 19.5)
- ⑤家で、学校の授業の復習をしているか。(はいー全国 23.3 二小 38.8)
- ⑥あなたの学級は、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めているか。(はいー全国 38.7 二小 64.2)
- ⑦地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があるか。(はいー全国 25.7 二小 46.3)
- ⑧5年生までに受けた授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思うか。  
(はいー全国 57.5 二小 76.1)
- ⑨5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたか。  
(はいー全国 66.6 二小 88.1)
- ⑩今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。(全ての問題で最後まで解答を書こうと努力したー全国 77.7 二小 91.0)
- ⑪算数の勉強は大切だと思いますか。(はいー全国 74.5 二小 85.1)
- ⑫算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えるか。  
(はい・全国 46.9 二小 62.7)
- ⑬理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか。  
(週1回以上ー全国 45.8 二小 64.2)



【手紙の書き方・授業】

#### (2) H25～27 二小の全国学力・学習状況調査の結果（無解答がなくなる）

全国学力・学習状況調査の結果ですが、特に大きな成果としては、無解答の割合がH26・H27と急激に少なくなったことです。

これは、H26・H27と活用力がのびたため、問題を読み取り、何とか解答しようという姿勢の子が増えたためと考えられます。無解答の割合をなくすには、活用力をつけることが非常に大切だと考え、実践しています。

#### 【全国学力テスト・無解答】

	H25			H26			H27			備考
	全国	本校	差	全国	本校	差	全国	本校	差	
国語A	10.7	10.9	+0.2	2.3	0.0	-2.3	3.6	0.1	-3.5	
国語B	13.6	13.9	+0.3	9.2	1.2	-8.0	6.1	0.5	-5.6	
算数A	1.7	2.5	+0.8	0.9	0.1	-0.8	1.8	0.0	-1.8	
算数B	6.3	8.8	+2.5	4.3	0.1	-4.2	9.1	0.9	-8.2	
理科	—	—	—	—	—	—	3.2	0.2	-3.0	

## 4 学力向上を支える主な要因

学力向上対策で大事なものは、「知・徳・体」のバランスの良さだと思います。「知」を支える「徳」・「体」の充実は欠かせない要素です。学習規律がしっかりして、友だちを思いやる学級、最後まであきらめいで色々なことに挑戦する学級をつくること  
が、学力向上につながると思います。また、学校を支える地域・保護者の協力も欠かせません。次に、本校の学力向上を支える要因と思われるものを載せます。

- ①職員が誠実に仕事をする・・・全職員が地道にこつこつと取り組む姿勢が大事
- \*遅くまで教材研究。向上心のある職員。提出物、全職員がきちんと〆切を守る
  - \*休みの連絡がない場合は、家庭に必ず連絡＝H26～現在、不登校0
  - \*職員室の雰囲気がいよ＝来客への接遇きちんと。常に子どものことが話題の職員室



【親子清掃】

- ②知・徳・体のバランスのよさ・・・H26体力優秀証交付率優良校
- \*20分休みはマラソントイム、外でよく遊ぶ。水泳・陸上記録の練習に多数参加
  - \*規範意識の育成＝朝の挨拶運動（校長も毎朝挨拶運動）、職員室の入室きちんと
  - \*友達とのトラブル、その日のうちに解決を原則とする。保護者へのこまめな連絡
  - \*NHK100万人いじめ防止キャンペーンへの参加、読み聞かせ、福祉体験など
  - \*給食ペロリ賞＜完食＞何回も受賞、虫歯の治療率100%の学級が多い
- ③他の団体からの授業を受け入れ・・・子どもの学習意欲を喚起（＝教員自身も楽しむ）
- \*カルピス、ユニクロ、大塚製薬、郵便局、租税教室、館林女子高生による英語活動
  - \*コミュニケーションマジック、6年生による第九合唱、土屋文明短歌教室等々
- ④主体的な児童の活動・・・毎週の挨拶運動、委員会、学級会、募金、子房つみなど
- ⑤地域の学校への協力体勢・・・学校見守り隊、バザーボランティア、青パト
- ⑥PTAの関心の高さ・・・授業参観の出席率高い、親子活動参加、教材依頼に協力的  
清掃ボランティア、林間学校のポスト探し・施設見学応援



【英語活動】



【校外活動】

# 【参考資料】

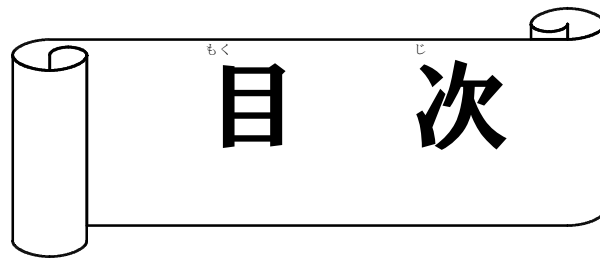
へいせい ねんど  
平成27年度

かてい がくしゅう てび  
家庭学習の手引き

かてい がくしゅう  
家庭での学習は  
とてもたいせつだね！



たてばやししりつ だいにしょうがっこう  
館 林市立第二小学校



# 目次

1. 家庭学習の手引き作成について・・・・・・・・・・ 1 P
2. 家庭学習の手引きを通して育てたい児童の姿・・・・・・・・ 1 P
3. 基礎的・基本的な学習内容とは・・・・・・・・・・ 1 P
4. 家庭学習の習慣づけのために・・・・・・・・・・ 1 P
5. 各学年の家庭学習について

- 1 ねんせいのかていがくしゅうについて・・・・・・・・ 2 P
- 2 年生のかてい学しゅうについて・・・・・・・・ 3 P
- 3 年生の家庭学習について・・・・・・・・ 4 P
- 4 年生の家庭学習について・・・・・・・・ 5 P
- 5 年生の家庭学習について・・・・・・・・ 6 P
- 6 年生の家庭学習について・・・・・・・・ 7 P

6. テストへの心構えについて・・・・・・・・・・ 8 P

# 家庭学習の手引き

## 1. 家庭学習の手引き作成について

小学校の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。本校でも学習内容が定着するように日々努力していますが、家庭学習を通して家庭との連携を図ることで、より確かなものになるのではないかと思います。家庭学習の手引きを作成しました。

## 2. 家庭学習を通して育てたい児童の姿

- 生活時間を有効に使うことができる児童  
(勉強や読書、手伝いに使う時間が、テレビやゲームに費やす時間より多い児童)
- 家庭学習の習慣や方法を身につけた児童
- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた児童

## 3. 基礎的・基本的な学習内容とは

主として学校で学習する内容(教科書に記載されている内容)です。特に、次のような技能は、各学年間でつながりをもっていますから、それぞれの学年で確実に身に付けておくことが望ましいと言えます。

- 教科書に出ているような文章をすらすら読むこと
- 教科書に出てくる漢字を読んだり書いたりすること
- 教科書に出ているような算数の問題を解くこと

## 4. 家庭学習の習慣づけのために

### (1) 家庭学習の習慣化のためのポイント

- ① 学習する時間を決めて、毎日同じ時間に。
- ② テレビを消して集中力アップ!
- ③ 机の上を整理整頓して。

### (2) 家庭学習の内容

国語	算数	自主学習
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字練習</li> <li>・漢字ドリル</li> <li>・音読</li> <li>・意味調べ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算プリント</li> <li>・計算ドリルの問題</li> <li>・教科書の問題</li> <li>・自作問題(計算、文章題)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学習したことをもう一度ノートにまとめる。</li> <li>・テストで間違えた問題をもう一度ノートにまとめる。</li> </ul>
<b>毎日 の 習慣</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書をしましょう。</li> <li>・国語辞典、漢字辞典、資料集等を身近において活用しましょう。</li> <li>・新聞に目を通してみよう。</li> <li>・自然や生き物とふれあい、観察してみましょう。</li> <li>・楽しかったことやうれしかったことなどを日記に書いてみよう。</li> </ul>	

## 6年生の家庭学習について

### 目標

○毎日60分以上家庭学習をする習慣を身に付けましょう。

	学 習 内 容 ・ や り 方
宿 題	<ul style="list-style-type: none"><li>○音読</li><li>○漢字練習</li><li>○国語プリント</li><li>○算数プリント</li><li>○社会プリント</li><li>○家庭科の実践（皮むき、生活の工夫など）</li></ul>
自 主 学 習	<ul style="list-style-type: none"><li>* 自主学習用のノートを使う。</li><li>○宿題プリントやテストで間違えた問題をもう一度やり直す。</li><li>○今日の授業で書いたノートをもう一度書き写す。</li><li>○教科書の内容を自分でノートにまとめてみる。</li><li>○苦手な漢字や計算の練習をする。</li><li>○国語辞典や漢字辞典を使い、漢字の意味調べや慣用句調べなどをする。</li><li>○社会科の歴史年表作りをする。</li><li>○その他、自分で決めた学習をする。 (家にあるプリントや問題集を活用してもOK)</li><li>* その日に何をするのか決めて、連絡帳に書いておくとよい。</li></ul>



# テストへの こころがま 心構え

## \* テストを受ける前日ぜんじつにすること

- テストを受ける前はテスト範囲はんいの勉強べんきょうしたことを見直みなおしましょう。
- 筆記用具ひっきようぐのほかにテストで使う道具つかう どうぐ（三角定規さんかくじょうぎ、コンパスなど）の確認かくにんをしておきましょう。

## \* テストを受ける時ときに注意ちゅういすること

- まず、学年がくねん・組くみ・番号ばんごうと名前なまえをきちんと書かきましょう。
- テストは、ていねいな字じで書かきましょう。
- できる問題もんだいから先さきにしましょう。
- 一通り終わひととおりおったら、必ず見直かなら みなおしをしましょう。

## \* テストを返かえしてもらったら

- かならず、間違まちがいを直なおしましょう。
- わからない時ときは、そのままにしないで自分じぶんで調べたり、先生せんせいに聞きいたりしましょう。
- 終わおったテストは、おうちの人ひとに見みせ、まちがった問題もんだいは一緒いっしょに確認かくにんしましょう。

**以下略**